

生駒市災害廃棄物処理計画(案)に対する「意見」・「市の考え方」・「修正内容」の一覧

No.	修正後のページ	意見内容(要約)	意見に対する市の考え方	対応	修正前	修正後
1	14	ボランティアとの連携(あとかたづけ時の分別の徹底、etc...)が重要であり、事前にボランティアを取りまとめた団体との協力体制の構築・教育・訓練についての内容があることが望ましい。	ボランティアとの連携等を記載します。	修正有		(5)ボランティア 災害に伴い発生する片付けごみは、災害の規模が大きくなるほど人手不足が想定されることから、被災家屋における片付けや、住民用仮置場への搬入及び分別についてはボランティアに協力を要請する。 そのため、災害ボランティアセンターを運営する生駒市社会福祉協議会とは、平時から災害廃棄物の分別・排出方法について情報共有を進め、協力体制の構築を図る。発災時には、決定した方針や住民に対する周知内容を共有し、災害ボランティアセンターを通じてボランティアへの周知協力を依頼する。
2	25	25ページ、26ページの各表について、「設置優先度」の記載があるが、優先度が明確でないので凡例を記載している。	凡例を記載し、わかりやすく見直します。	修正有	現在の候補地を表3.1.8～表3.1.9に示す。	現在の候補地を表3.1.8～表3.1.9に示す。(優先度:1-高、4-低)
3	26	「表3.1.9仮置場候補地」について、開設期間を記載してほしい。	表に開設期間を記載します。	修正有		* 仮置場の開設期間は、仮置場設置日から8ヵ月以内とする。
4	26	「表3.1.9仮置場候補地」の生駒山上遊園地の面積を改める。	近畿日本鉄道㈱の固定資産台帳に基づき修正いたします。	修正有	21,297.00	21,065.00
5		今具体的には方法は不明ですが、被災者の住民が復旧する気持ちになる方法を実施してほしい。	災害時に発生する廃棄物について、早期復旧・復興を目指して実行計画を策定いたします。被災した方にも貴重品や思い出の品などを分けるなど配慮しています。策定後も必要に応じて実行計画の見直しを行う予定です。	原案のまま		
6		「市民への周知・啓発」が最重要であり、具体的な提案は外部組織の活用です。	「市民への周知・啓発」は重要であり、市がすべて行うことは難しいと考えます。民間事業者と協定を締結していますが、策定後も必要に応じて計画の見直しを行う予定です。	原案のまま		